

## 4 ポーセイミツチャク作業時の注意

- ① 素材の水分、油分、ホコリ等を充分に取る。
  - ② 労安法の注意点を厳守する。
  - ③ 雨の日や高湿度時の使用は極力避ける。(ブラッシングの恐れあり)
  - ④ ブラッシングを起こした状態では、次の作業を中止する。  
(通常は15~30分でブラッシング現象が消えるので時間をとる)
  - ⑤ 他の材料、塗料と混合して使用しない。
  - ⑥ 塗布後、雨、露などにあたらないように作業する。
  - ⑦ 被塗物に水分が含まれている場合には使用を中止するか充分に乾燥させてから作業を進める。
  - ⑧ ポーセイミツチャクを塗布してから8時間以内に、塗装が完了するようにする。
- \* ポーセイミツチャクのミストの除去は不要である。

## 5 ヘミングリボンシーラー作業時の注意

- ① ポーセイミツチャク塗布後、指触乾燥以上(20℃約5分)8時間以内に貼る。
- ② 貼り付け温度は10℃~20℃が適当。10℃以下では初期密着が半減。
- ③ ヘミングリボンシーラーが冷えている場合は暖めると効果的。
- ④ 必要以上に引っ張らないこと。(変形の恐れあり)
- ⑤ ヘミング部に合わせて貼る。
- ⑥ ヘミングリボンシーラーは一定方向へ貼る。
- ⑦ 一端を押さえ、順次押さえて気泡を巻き込まない様貼る。
- ⑧ ヘミングリボンシーラーは端部より剥がれやすいので、先端をしっかり押さえておく。
- ⑨ 圧着は必ずローラーを使用すること。一度目は軽く。2度目で本接着。
- ⑩ ローラーは、方向性がありますので、必ず右から左へ使用する。

## 6 予想されるトラブルQ&A

- Q 1: ポーセイミツチャクは、'使用'しても'未使用'でもよいか?  
A 1: ポーセイミツチャクは、ヘミングリボンシーラーの初期密着を助けるパートナーです。  
必ず使用してください。使用することにより密着力が向上します。
- Q 2: ポーセイミツチャクを使用する前に足付け作業はしたほうがよいですか。  
A 2: 必ず実施してください。
- Q 3: ポーセイミツチャクは、どのくらい塗布したら効果があるの?  
A 3: 2回塗布で光沢がでるくらい塗布してください。
- Q 4: ポーセイミツチャクの乾燥時間は?  
A 4: 指触乾燥以上(ベトツキがなくなるまで)目安: 20℃で約5分。
- Q 5: ヘミングリボンシーラーに左右はあるか?  
A 5: 有りません。
- Q 6: ヘミングリボンシーラーを貼った後'すき間'ができてしまった。  
A 6: 既存のシーリング剤を使用して埋めてください。  
はみでた部分に関しては、ラッカーシンナー等で拭き取ってください。
- Q 7: ローラーの必要性は?  
A 7: 感圧タイプの粘着剤を使用していますので必ず圧着してください。  
圧着をすることで付着力が向上します。
- Q 8: ヘミングリボンシーラーが汚れてしまった。  
A 8: シリコンオフ、ラッカーシンナー等でかるく拭いてください。
- Q 9: ヘミングリボンシーラーが途中で足らなくなった。  
A 9: 継ぎ足してください。  
継ぎ足した部分に関しては、既存のシーリング剤で埋めてください。
- Q10: 遠赤・近赤を使用して強制乾燥を実施しますが、70℃の温度管理ができません。  
A10: ヘミングリボンシーラー貼り付け後15分以上常温で放置してください。  
それから強制乾燥を実施してください。

InReto

交換パネル用

# ヘミングリボンシーラー

(ドア・フード・トランク)

## 作業マニュアル

インシット

茨城県古河市駒羽根3-1428-2  
TEL 0280(92)3438 FAX 0280(92)7147

# 1 用途

- [1] 交換パーツの補修用として。
- [2] ドア、フードなどのヘミング部(外板折り曲げ部の先端)に使用して美観を得る。
- [3] 仕上がりを目的として。
- [4] 事故車の復元に。

# 2 特徴

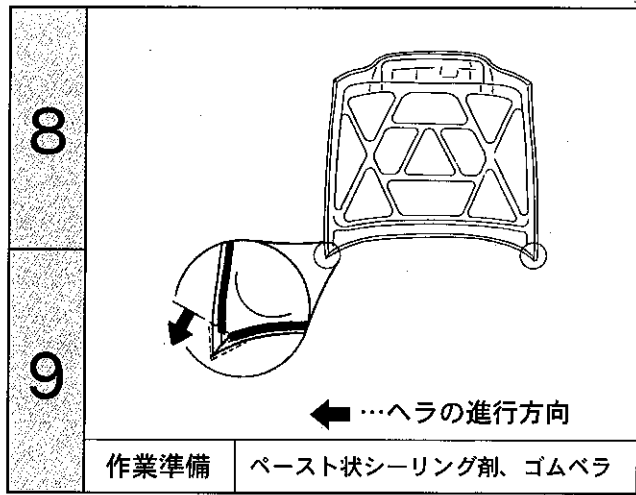
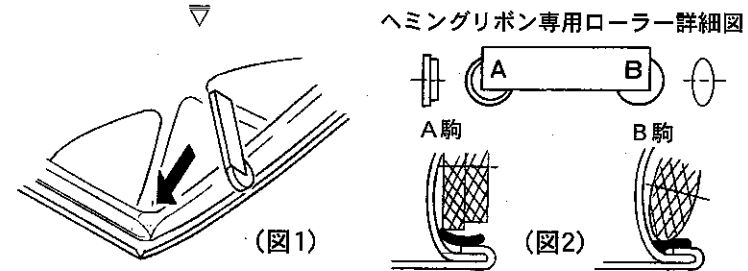
- [1] 仕上がりに状態、美観に対する満足度が高い。
- [2] ペースト状でないで直線はもちろんコーナー、段差もラインが崩れない。
- [3] 乾燥時間なしで次工程(塗装作業)へ入れる。
- [4] 新車の形状に近い。
- [5] 作業する方の経験年数に関わらず仕上がりは一定。

# 3 作業工程

(☆はワンポイントアドバイス)

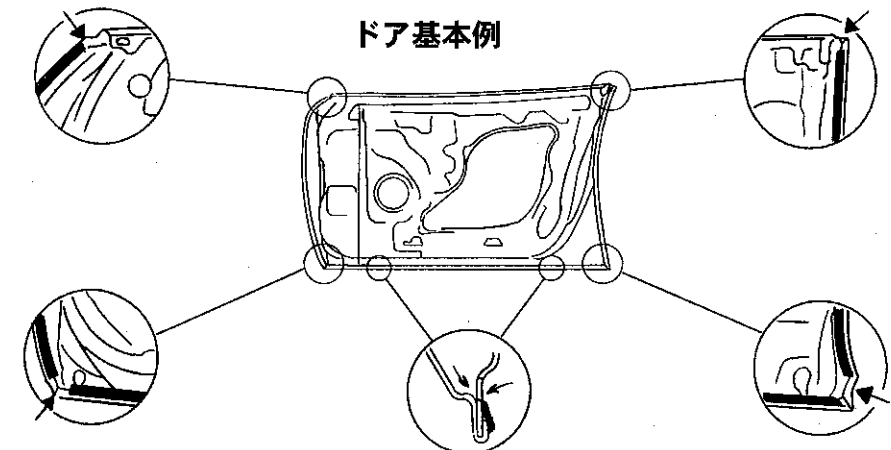
工程 No.	作業工程	
1		
2		
3	作業準備	ナイロンタワシ (#600) ダスターガン、シリコンオフ
4		
5	作業準備	ポージェイミッチャク
6	基本例	
	作業準備	ヘミングリボンシーラー、ハサミ
7	ローラーは、右から左へ	
	作業準備	ヘミングリボンローラー

- 1. パネル全体を足付け**  
☆作業効率を早くする為、スタート位置を決めてください。  
☆はみ出している防錆シーラントは除去する。
- 2. エアブロー (ダスターガン使用)**
- 3. ヘミング部分及び全体を脱脂**  
☆被着体表面の付着物(油、水等)は取り除く。
- 4. ポージェイミッチャクを2回塗布**  
☆光沢がでるくらい。
- 5. 乾燥 (20℃約5分)**  
☆ベトツキがなくなったらOK
- 6. ヘミングリボンシーラー貼り付け**  
☆リボン(離型紙を除去し)をヘミング部に合わせ一定方向に貼り付ける。  
☆貼り合わせ温度は、10℃以上、好ましくは20℃以上が良い。(10℃以下は初期密着が半分以下になる)  
(リボンが冷えている時は、暖めて使うことで密着性が向上する。)  
☆パネル温度は、5℃以上になる場所で準備する。  
(リボンの付着不良防止、結露防止)  
☆先端はしっかり押さえておくこと。(リボンは、端部より剥がれ易い。)  
☆リボンの貼り方は、一端を押さえ、順次押さえて貼る。  
☆リボンが必要以上に引っ張らない。  
☆リボンが問題なく貼り付けてあるか確認する。
- 7. ローラー圧着**  
☆ローラーの圧着は、一度目に軽く、二度目に強く押す。  
(一度目は気泡押し出し、二度目で本接着)  
☆ローラー作業で圧着が不十分な場合は浮きの発生があります。  
基本作業は、ローラーA駒使用。(図1)  
ローラーA駒が使用出来ない場合、B駒使用。(図2)



**8. 貼り付け確認**  
☆貼り始めと終わりの確認をする。  
☆リボンが汚れてしまった場合はウエスにシリコンオフをしみこませ軽く拭く。

**9. シーリング処理**  
☆角、継ぎ目、排水口部、スポット溶接の部分及びヘミングの部分から外れた箇所については既存のシーリング剤で埋めてください。(上塗り塗料では隙間を埋める事は出来ない。)  
☆はみでたシーリング剤はラッカーシンナー等にて拭き取る。  
☆角は、ゴムベラ等を使用する。  
☆カット後のシーリング処理は、平滑に仕上げること。(←部)  
☆排水口処理は、手が内側より可能な場合は内側よりシーリング処理。  
注) 排水口の穴は、ふさがらないこと。



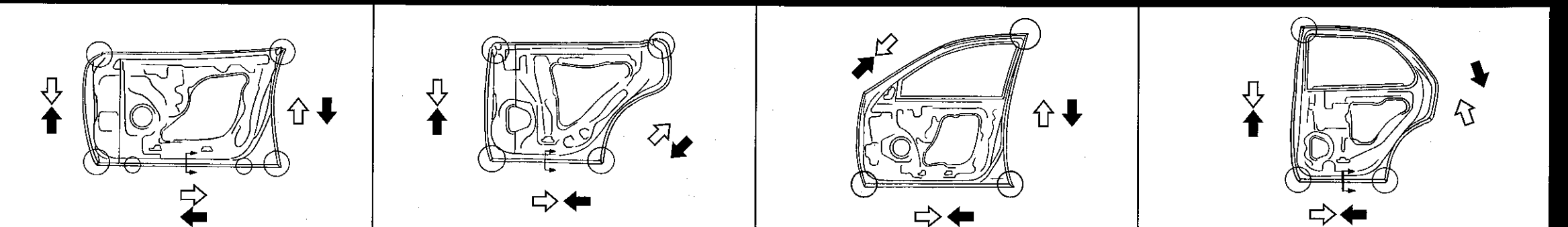
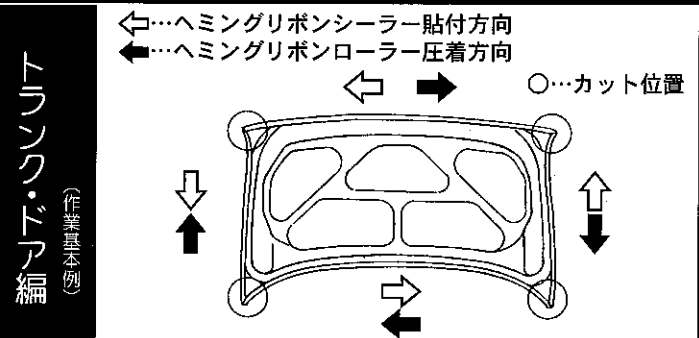
10	全体を確認する	
	作業準備	塗料仕様書
11	塗装	
	☆塗料の仕様書に準ずる。	
12	乾燥	
	☆乾燥時ボディ温度は70℃以上には上げないこと。 (70℃以上はリボンが凝集破壊する。) ☆遠赤、近赤等を使用して乾燥する場合は、貼り付け後15分以上は放置してから乾燥する。	
13	ヘミングリボンシーラーの保存について	
	① 使い残った場合は、直射日光を避け、ポリエチレン袋に入れて室温(基本は23℃、65%)にて保管すること。(粘着剤の劣化防止) ② 70℃以上又は湿度85%以上になる様な場所には、放置しないこと(粘着剤の劣化防止) ③ 車内には放置しないこと。	
作業準備		遠赤外線塗装乾燥機 近赤外線塗装乾燥機 焼付塗装ブース

**10. 全体を確認する**  
☆リボンの浮き、パネルとリボンの隙間等を確認する。  
☆隙間等はシーリング剤で処理する。

**11. 塗装**  
☆塗料の仕様書に準ずる。

**12. 乾燥**  
☆乾燥時ボディ温度は70℃以上には上げないこと。  
(70℃以上はリボンが凝集破壊する。)  
☆遠赤、近赤等を使用して乾燥する場合は、貼り付け後15分以上は放置してから乾燥する。

**13. ヘミングリボンシーラーの保存について**  
① 使い残った場合は、直射日光を避け、ポリエチレン袋に入れて室温(基本は23℃、65%)にて保管すること。(粘着剤の劣化防止)  
② 70℃以上又は湿度85%以上になる様な場所には、放置しないこと(粘着剤の劣化防止)  
③ 車内には放置しないこと。



論 理 工 程 (例)